

審 議 会 会 議 録

会議名称	第4期伊達市障がい者計画策定委員会（第3回）		
議 題	① 第4期伊達市障がい者計画（素案）について		
開催日時	令和5年12月8日（金曜日）15：00～16：40		
場 所	伊達市役所2階会議室A		
出席者	委員出席者8名、委員欠席者6名		
	所管部課名	健康福祉部社会福祉課	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1 開会（事務局：社会福祉課長）</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">①について事務局より説明</p> <p>【質疑・意見交換】</p> <p>①第4期伊達市障がい者計画（素案）について</p> <p><input type="checkbox"/> 委員長 資料1の赤字での修正箇所については、主に第2回会議での審議を基にした修正とのことだが、いかがか。</p> <p><input type="checkbox"/> 委員 SDGsについて、用語解説で全てのゴールについて掲載した方が親切だと思う。</p> <p>●事務局 用語解説に掲載する。</p> <p><input type="checkbox"/> 委員長 他になければ、資料2の委員から提案のあった部分の青字での修正について順番に審議する。 8ページの「第3期伊達市障がい者計画の進捗状況」について、誰が見てもわかりやすいように数値で表せる実績を追加しているが、いかがか。</p> <p><input type="checkbox"/> 委員 9ページの就労支援の「障害者就労施設等からの物品調達」について、事業費が記載されている。なぜこの項目だけ事業費を載せて他の項目は載せないのか。</p>			

●事務局

障害者就労施設等からの物品調達の実績は金額で表すこととなっている。事業費という捉え方ではなく、他の項目の何件、何人、何回と同じ使い方なので、金額での表現となる。

□委員

市町村が優先調達をすることによって、各事業所の活動が活発になる。市の実績は年々上がっているが、金額でなければ頑張りは伝わらない。何事業所何件という記載では事業所の受注金額が増えているのか減っているのかわからない。

□委員長

この事業については金額で実績を表すこととなっているので、案のとおりでよろしいか。また、青字での修正案を採用することとしてよいか。

□全員

よし。

□委員長

次に 16 ページの「個人アンケート調査の結果」について、文章だったものを箇条書きに変えているが、いかがか。

□委員

すごく見やすくてよくなった。しかし、複数回答の項目について、回答を合計しても 100%にならない。資料のアンケート詳細を見ればわかるが、誤解を与えるので注意書きが必要だと思う。

□委員長

複数回答についての注意書きを追加することとし、青字の修正案を採用することとしてよろしいか。

□全員

よし。

□委員長

次に 24 ページの「リハビリテーション」の用語解説について青字の修正案のとおりでよろしいか。

□委員

もっとわかりやすい表現としたかったが、他の用語解説とのバランスも考慮し、頭の部分の修正と後半は長文を見やすく括弧で区切った。

□全員

よし。

□委員長

次に 26 ページからの「施策の展開」のアンケート結果から見えてくることについて1-1から順に審議する。

□委員

個人アンケート結果の部分で「合理的配慮の提供」とあるが。言葉の意味が分からない。

●事務局

言葉の意味としては、47 ページの用語解説に記載のとおり、「障がいのある人から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度の負担になりすぎない範囲で対応すること」という意味である。

□委員

用語解説に違和感がある。行政機関のリーフレットも同じ表現だが、知的障がい者を支援する立場からすると「何らかの助けを求める意思の表明があった場合」という部分が引っかかる。意思を表明できない人を支援するうえで意思決定支援が課題となっている。

□委員

障がいのある人が社会生活を営む上での不利益の部分を排除しましょうという表現になるが、自分から申し出ることができない人には意思決定支援をする。これも合理的配慮の一つである。合理的配慮の提供においては、過度の負担になりすぎないという部分も重要なので、どこまで求めるか。

□委員長

この場ですぐに案が出ないので、用語解説については事務局と検討し修正する。1-1については、青字の修正案のとおりでよろしいか。

□全員

よし。

□委員長

次に28ページの1-2についてはいかがか。青字の修正案のとおりでよろしいか。

□全員

よし。

□委員長

次に29ページの2-1についてはいかがか。

□委員

アンケートの質問事項は残した方がよい。「毎日外出する」人が増えている、「市役所」などが利用しづらいに対するアンケートの質問がないとわかりづらい。

□委員長

文章としての繋がりは切れてしまうが、提案のとおり質問事項ごとに区切って回答を記載することとし、他は青字の修正案のとおりでよろしいか。

□全員

よし。

□委員長

次に31ページの2-2について、第2回会議で二次障がいについての意見があったがいかがか。

□全員

個人アンケートで、専門的な治療を行う医療機関がないといった意見があるなか、障がいの早期発見という記載はあるが、二次障がいについて触れられていない。市において障がい者の

健康診断や相談や医療はどのように行われているのか。個人や支援者が受診に積極的であれば問題ないが、誰がそばにいるか、どんな資格を持っているかで、障がいがあるのだからこんなものだと受診しないで経過してしまったことにより、二次障がいが出てしまう。わかっているけど経済的な理由で受診しないなど、防げたであろう二次障がいをなくしたい。仙台市や名古屋市では二次障がいの早期発見を目的に健診や体操教室を実施している。今回の計画にそこまで入れることは難しいと考えるが、二次障がいという防げる障がいがあることを伝えたい。

委員

私はポリオの後遺症で今に至っている。ポリオにかかった人は一定の年齢のときに急に体に変調をきたし階段を上がれなくなる。二次障がいについて知っていて対応していれば、軽くて済んだのかもしれない。

委員

早期に発見し、本人への適切な生活指導やリハビリにつなげるだけではなく、生活環境の見直しなどにより防げることを知ってもらいたい。

委員

知的障がいという二次障がいはちょっと違う。そこのバランスが取れるのであればよい。

委員

これまでは、インターネットで「二次障がい」で検索すると身体障がいについて出てきていたが、最近は発達障がいに関する二次障がいについてが出てくる。時代が変わってきている。

委員

二次障がいだけで捉えれば、身体障がい知的障がいともに、一次障がいによって不利益を被っているものに、さらに障がいをもってしまうという意味では同じ表現で良いと思う。

委員長

広島市のような、車いすを利用する障がい者を対象とした健康診査は北海道内では聞いたことがない。具体的な施策の展開としては難しいかもしれないので、現状と課題に二次障がいの予防について記載し、意図的に周知していくことでいかがか。

全員

よし。

委員長

次に 32 ページの 2-3 について、人材の確保について追加されているがいかがか。

委員

人材確保が困難な理由として、介護・支援に関わる人の働き方改革が注目されている。厚生労働省も人力での介護からノーリフティングケアへ変えようとしている。支援する人を守るためにも介護のしかたについて改革を指し示す言葉をいれたい。職員個人の能力を上げるだけでは追いつかない。

委員長

サービスを提供する側が健康でなければ、質の良いサービスを提供できない。この内容を追加し、他は青字の修正案のとおりとすることでよろしいか。

全員

よし。

委員長

次に 34 ページの 3-1 についてはいかがか。青字の修正案のとおりでよろしいか。

全員

よし。

委員長

次に 35 ページの 3-2 についてはいかがか。青字の修正案のとおりでよろしいか。

全員

よし。

委員長

次に 37 ページの 3-3 についてはいかがか。青字の修正案のとおりでよろしいか。

全員

よし。

委員長

他に意見はないか。

全員

なし。

3 その他

●事務局

今後のスケジュールについて説明する。本日の審議内容を基に素案を修正し、令和6年1月17日から2月15日までパブリックコメントを募集する。パブリックコメントにより計画の大幅な見直しが必要な場合は、2月下旬に第4回会議を開催する。軽微な修正の場合は、委員長と副委員長に確認していただき修正する。本日の会議録の確認は委員長一任としてよろしいか。

全員

よし。

4 閉会

第4期伊達市障がい者計画策定委員会（第3回）

日時：令和5年12月8日（金）15：00

場所：伊達市役所2階会議室A

1 開会

2 議事

（1）第4期伊達市障がい者計画（素案）について

資料1

資料2

3 その他

4 閉会